

組合は民主的な学校づくりのためにある 実践や情報を交流し合い、全教らしい働きやすい職場づくりを

執行委員長 船石 耕生



新年度が始まり、新たな気持ちでスタートを切られたことと思います。異

動・転勤された先生は尚更かと思えます。学校という職場は、毎年4月にリセットされるので、それが節目になります。子どもたちの中には新しい学級のメンバーや先生と出会って、それまでとちがったよい面を見せる子もいます。今年度がみなさんにとってより実りのある一年になることを願っています。

今、学校は慢性的な仕事の多さと人手不足、そして、やらされている感のある仕事で閉塞感を感じるところになっていきます。また、あつてはいけないパワハラに悩まされるといった許されない事例もあります。組合は、職場を働きやすくし、私たちが健康的で文化的な生活を送るために、また、より民主的な学校をつくるためにあります。これからも実践や情報を交流し合い、全教らしい民主的な教育をつくっていきましょう。

防衛省への売却は戦争への一里塚

日鉄呉跡地問題を考える市民集会

呉を戦前の軍都に戻すな

4月21日(日)13時~14時30分

呉中央公園ふれあい広場(呉体育館南側)
●市民集会 13:00~13:45
●集会後デモ行進 14:00~14:30

●日本製鉄呉跡地の軍事拠点化に反対します
●防衛省への売却が戦争への一里塚です
●軍転法を守り、平和産業に活用しましょう

軍転法からも、防衛拠点では無く
未来に希望が持てる活用策を



日鉄跡地 防衛省が一括購入？
マスクでも報道されている通り、昨年9月に閉鎖された日本製鉄呉の跡地を、3月4日に防衛相が「防衛拠点として一括購入し、大規模な軍事拠点を作る構想を示しました。呉を再び軍港に戻すことは許されません。呉市は戦後、「旧軍港市転換法(軍転法)」を住民投票で成立させ、平和産業港湾都市を目指すことを市の内外に示しました。大規模軍事拠点となることは、この軍転法の主旨から外れます。また、軍事拠点になるということは、呉の地から兵士が戦争に出撃することや、相手国からの攻撃的になることを意味します。

教え子を再び戦場に送るな！
左のビラの通り、
日時：4月21日(日) 13時~14時30分
場所：呉中央公園ふれあい広場
(集会後、デモ行進)

「日鉄呉跡地問題を考える市民集会」が開催されます。教職員組合の誓いである「教え子を再び戦場に送るな」の思いを胸に、多くの参加を呼びかけます。

あらくさ

職員室でも教室でも政治の話をしづらい。18~24歳の投票率は、日本32%に対して、デンマーク82%、オーストリア80%、スウェーデン72%、オランダ68%、ドイツ67%(全て不投票に罰則がない国)である。スウェーデンでは小6社会の教科書に、投票に行くこと、集会やデモに参加することが大切と書かれている。デンマークでは「あなたはどうしたいの?」「何が好き?、何が得意?」と問われながら育ち、自分の意見を表現することを常に求められる。テストや受験がなく、正答率を求められないため自分の意見を表明することが尊重される。中学校の歴史・公民で、各政党の特色、政治的立場、政策を調べ、ディスカッションをしながら自分などの政党に賛同できるかを考える授業もある。日本は、教員の「政治的中立」を言われ、選挙や主権者教育が難しい。日本の中・高生はテスト対策の勉強ばかりで、政治を学ぶ機会がごく僅かである。そしてそれが長年続いている。

(F)

今年も
スタート
えがお署名



↑
ネット署名も
あります

軍拡よりも、 教育にお金をまわせ!

日本の教育予算が国内総生産 (GDP) に占める割合は、OECD諸国の中で最低レベルです。防衛予算ではなく、教育予算を増やして、子どもの“教育への権利”の保障を!

文部科学省に対して、私たちの要求 (概略は右記参照) を概算要求に盛り込むことを求める署名です。

各職場・地域で

大きく広げましょう!

1. 正規の教職員の大幅増を
2. 給特法を改正し時間外勤務手当を支払うしくみを
3. 義務教育費国庫負担率を2分の1に
4. 20人学級を展望し、国の責任で全学年で少人数学級を
5. 特別支援学級の編制標準を6人に
6. 特別支援学校の過大・過密の解消を
7. 私学の経常費助成を増やして
8. 学費・給食費・PCの無償化、給付奨学金の支給、就学援助制度の拡充を
9. 震災や原発事故の被災地の子どもたちを守るため、学校と地域の復旧・復興を

「不登校児の居場所の選択肢 増やしたい」(呉市教委)

～ 全教海田が対呉市教委交渉を実施 ～

全教海田支部が、今年度2回目となる呉市教委との交渉を、年度末の3月26日に行いました。全教からは、大當呉支区長 胡谷支部書記 長、武本支部長の3名が参加し、市教委から、藤井管理主事主査、森脇主任、田村学校安全課長が出席しました。今回は、昨年9月の「いじめ自殺」の教育長謝罪以後の市教委のいじめ対策、増え続ける不登校への対策、とりわけスペシャルサポートルーム (SSR) の設置の少なさを指摘し、その増員を求める要請となりました。



今回の市教委交渉では、いじめの取組、不登校の取組について、はじめて所管の学校安全課 (生徒指導担当) の課長と議論ができました。1時間という限られた時間の中で、最も重視したのは、SSRについての議論でした。呉市は59校中、SSRの配置は6校にしかありません。広島市は5年前からすべての学校に午前中は担当者が配置されています。

不登校を考えるつどい

～ 語り合おう 学び合おう 子どもたちをまん中に ～



とき 2024年5月19日(日)13:30～16:00
 ところ ビューポートくれ 2階 大会議室
 お話 『不登校の子どもたちに寄り添って ～子どもの権利とねがい』
 講師 春日井 敏之さん (立命館大学名誉教授)
 主催 不登校を考えるつどい実行委員会
 後援 全教広島海田支部
 連絡先 胡谷 090-2003-4973
 参加費 500円(資料代を含む)

れ、今では、教員の担当者が中心となり子どもを見守る体制がつけられ、広島市も、積極的な配置を計画的にすすめ、全小中学校の33%に配置されています。呉市は10%程度です。全教海田支部は、SSRの増員が喫緊の課題であると主張しました。これに対する市教委の答弁は、SSRは不登校生徒の学ぶ場の中の一つの選択肢だと。だから、増やせばいいのではないと云いたいようです。しかし、どの学校にも不登校児童生徒がいます。人を配置しないかどうか、誰一人取り残さないという方針を語る市教委は、自己矛盾に陥っていました。引き続き支部の中でも議論しながら、もっと増やせの声を上げる必要性を感じました。

県内各地で学級びらき講座を開催！

新学期は信頼できる他者や自分との出会い直し

広島市で学級びらき講座

四月六日、二葉公民館で、広島市生活指導研究協議会主催、広島市教組共催の学級びらき講座が開催されました。前半の講師は、専従を終えて学校現場に戻ったばかりの山本佳宏さん(二葉中)が務め、子どもたちとの出会いをどのよう to 迎えるかについて、具体的に学びました。

出会いの初日は時間がありませんが、限られた時間の中で効果的にレクや雑談を仕組んでいけば、教師のメッセージを伝えたり、生徒を分析したりできると教えてもらいました。

レクの中で、仕切っていた子は誰か、盛り上げていた子は誰かと、リーダーを探したり、逆に握手ができない子は誰か、疎外されそうな子は誰かを見つけて一番に仲良くなったり、生徒の分析を自然にされていたのが印象的でした。

その後、大阪教育大の八木秀文先生からまとめがありました。基本的信頼感が芽生えると(信頼に値する大人に出会えると)生き直すことができること。一日一日出会い直しの場はあるから、山本先生のように、「見捨てないよ」というメッセージを発信していきましょうと教えてもらいました。また、自分の思いを言いたがらない子が増えています。まず、言わせるより聞き手を育てることが大切ということも学びました。会場参加27名、ZOOM参加7名、中学校の先生

を中心に未組の方の参加も複数ありました。

参加者の感想より、

○学級びらきやオリエンテーション期間中のレクリエーションについて、行う意味を、深く考えることができました。これまでのレクは、ただ楽しむことを目的に行っていましたが、これからは評価を取り入れたいなと思いました。具体的なお話、ありがとございました。不安だった学級びらきが、楽しみになってきました。

○初めての学級開きに向けて、とても不安な気持ちでいっぱいでしたが、講座を受けてたくさんのヒントを掴むことができました。「信頼に値する他者や自己に出会い直すことができれば、生き直すことができる」と言う言葉を常に思い返しながらこれから学級びらきに向けて準備したいです。



講師の山本さん(右)と八木さん(左)レク体験を楽しむ参加者(下)

全教福山・学級づくり

学校づくり講座

全教福山は四月六日、「学級づくり・学校づくり講座」を開き、8人が参加しました。船石さん(誠之中分会)から子どもたちの実態を報告してもらい、井上さん(駅家中分会)から中学校への入学前に困難さを予測されていた生徒たちに、オラオラ系の生徒指導ではない方法で生徒たちが自立していく学年づくりの実践を報告してもらいました。

参加者の感想より、

○「大人を好きになってくれる子ども」そんな子どもになってくれるように子どもたちに寄り添っていくように頑張りたいと思います。

○私も小学校時代を知っている子たちの報告でしたが「あの子たちがそんなに変わるのか」という驚きがありました。お話を聞いてみて「そりゃ変わるよな」と思えてきました。「自立を促すセリフ」…。私も使っていきます。

○少しの発想と対応の違いで、そこまで変わるのかと思いましたが、生徒指導が減り、自分たちでトラブルが解決できたり、

保護者からのクレームがなくなり、逆に感謝の電話があったりとマジックのような実践でした。

○子どもは何によって成長するのか、それを支える先生は何によって成長するのか。短い時間でいっぱい考えました。



福山での「学級づくり・学校づくり講座」の様子

この他にも、同日に広島市の古市公民館で、安佐生活指導研究協議会主催の「学級開き&授業開き講座」が開催され、青年の組合員が講師を務めました。組合や民間教育研究サークルでの自由で主体的な学びが、教育現場で真に必要なとされています。全教広島はHPを随時更新し、学習会や取り組みの情報を発信しています。



福山で「おつかれさま会」開催

本当に感謝しています。など、みなさんから近況報告が行われ、お互いに元気が出ました。企画・運営した文徳さん（執行委員）は、「今日はありがとうございました。こういふ会がまた出たらいいですね。24年度はいろいろ楽しみました。いすねー」と感想を述べられました。



3月30日（土）の夜、カフェアインジン（神辺町）にて「おつかれさま会」を開催しました。コロナ禍を機になかなか仲間が集まることが難しくなった3年間で、久しぶりに仲間が集まったこの日は、11人の参加があり、お互いに一年間の奮闘をねぎらいながら楽しいひとときを過ごしました。「長年、特支学級を担当してきましたが管理職のパワハラがひどく、全教福山のみなさんに相談しながら切り抜けてきました。これからもよろしくお願ひします。」

「全教福山のおかげで、ここまでやってこることができました。」

それぞれの支部・地域で年度初めの集まりをもちましよう

2024年度全教広島役員

昨年3月に行われた全教広島の役員選挙によって下記の役員が任されました。よろしくお願ひします。

執行委員長	船石 耕生	福山	誠之中学校
副執行委員長	神部 泰	専従	全教広島本部
〃	武本 雅秀	海田	府中東小学校
書記長	中本 雄一	専従	竹屋小学校
書記次長	秦 賢二	広島	みどり坂小学校
〃	山本 佳宏	広島	二葉中学校
執行委員	植松 広	福山	福山北特別支援学校
〃	宇城 昌里子	広島	中島小学校
〃	胡谷 徹	海田	音戸中学校
〃	奥野 正作	尾道	瀬戸田中学校
〃	折出 隆彦	海田	府中中学校
〃	小林 祐子	福山	向丘中学校
〃	四海 久富	佐伯	阿品台東小学校
〃	谷田 三枝子	広島	高取北中学校



新書記長の中本です。行政の「働き方改革」が成果を見せない中、教職員組合の役割はますます重要です。みなさんといっしょに、全教への共感を広げ、仲間を増やし、運動を前に進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

職場環境チェックポイント

- 勤務時間以外の仕事を強制されていませんか。勤務時間は適正に把握されていますか。
 - 勤務時間外に仕事を強要されたり休日に地域行事等に「ボランティア」の名で参加を強制されていませんか。
 - 「在校等時間」の記入は、土日も含めて正確に記入されていますか。
 - 時間外勤務の縮減において、具体策は示されていますか。
 - 「あいさつ運動」「交通指導」等で早朝の勤務を割り当てられた場合に、「個別の割り振り変更」は認められていますか。
- 民主的な学校運営は行われていますか？
 - 学校運営は、一方的・強制的な押し付けがあってはなりません。納得と合意形成が大切にされていますか。
- セクハラ・パワハラはありませんか？
 - 深刻なハラスメントも報告されています。自分だけでなく、同僚がづらい立場におかれていないか注意しましょう。
 - 困っていること、悩んでいることなどありましたら、全教広島までご相談ください。
 - 電話：082-264-7850

今年度版の女性部アンケートできました

右の二次元バーコードから回答可能です。【期間は4月～6月まで】

